

1 内政

ジャネット・セメス・パニュエロ女史（パニュエロ大統領の前配偶者）は、FSM最高裁に対して、パトリシア・エドウィン女史（パニュエロ大統領の現配偶者）によるFirst Lady 呼称の使用によってダメージを受けたと訴えた。パニュエロ大統領はジャネット女史と1989年に婚姻したが、まだ法的には離婚していないのにもかかわらず、大統領自身や大統領府や外務省などのミクロネシア政府機関がパトリシア女史をFirst Lady と称しているのは間違いであり、ミクロネシアの法律は重婚を認めていないと主張している。

（5日付 カセレリエ紙）

2 外交

パニュエロ大統領の訪中

パニュエロ大統領は、11日から訪中し、習近平国家主席や李克強国務院総理等と会談した他、北京大興国際空港と万里の長城を観光した。また、天安門広場で開催された人民英雄記念碑への献花式に参加し、会談後は習主席が主催する晩餐会に出席した。パニュエロ大統領には同夫人の他、モセス第21期連邦議会副議長、ロモロウ連邦議会議員（法務委員会委員長）、パルク連邦議会議員（資源開発委員会委員長）、エリモ・チューク州知事、シグラ・コスラエ州知事が同行した。なお、パニュエロ大統領と同夫人は中国訪問中に亡くなった同夫人の父親の葬儀に出席するため15日急遽帰国し、15日以降の残りの日程は残ったモセス連邦副議長をFSM団長としてこなし、海南州や広東州の熱帯農業研究施設などを訪問した。

習主席との会談では、中国とミクロネシア（FSM）との経済技術協力に関し多各種合意文書が署名された。

- ・相互の外交官及び政府関係者に対する査証免除
- ・ポンペイ州庁舎を改築するための約10百万ドルの資金協力
- ・4州すべてを対象とする「国家舗装計画」の一環としてのチューク州道路とポンペイ州幹線道路についてのフィージビリティスタディ（チューク州道路のみで50百万ドルを見込む）
- ・ミクロネシア地域の職業訓練機関のあり方を決定するための基礎的な作業
- ・遠隔地域で活動する中国医療チームの派遣
- ・農業協力の強化

・約12百万ドルに及ぶ新規経済協力

詳細は客年往電第828号, 同第839号, 同第842号を参照。

(カセレリエ紙)

パニュエロ大統領, クリスマスドロップ作戦に参加

10日, パニュエロ大統領は, ヤップ州ユリシ環礁のモグモグ島及びファサリ島の人々へクリスマスの祝福を届けるため, 米軍 C-130 輸送機のサンタ32機に搭乗した。パニュエロ大統領の他, メノニ・マリアナス統合地域司令官とロバート・ライリー駐ミクロネシア米国大使が参加した。今年の作戦には, NZ空軍, 日本の航空自衛隊及び豪空軍が参加した。今回は, FSM の他, パラオ共和国, 北マリアナ諸島等56の島々が対象となり, 約2万人が, 22万本の釣り竿, 310マイル(約498キロメートル)の釣り糸, 26, 500パウンド(約12トン)の米, 衣類, 玩具, 教材等を受け取った。

詳細は客年往電第825号を参照。

(12日付 カセレリエ紙)

3 経 済

ナマコの捕獲に関する暫定的差止め命令は, Young Sun が意義を申し立てるまで有効

Young Sun 国際貿易会社の弁護士は, FSM 最高裁判所に11月27日に暫定的差止め命令(TRO)を取り下げる申立てを行ったが, 本件に関与している弁護士が帰国するのを待つよう裁判所に命じられた。審理は1月10日に行われる予定。1月19日, 7名の青年が訴訟を起こした際, 法廷は2,000ドルの債券を支払うよう要求したが, Young Sun は, TRO の取下げを待っている間の損失を補う十分な金額ではないとして, 100,000ドルに引き上げると主張している。

(5日付 カセレリエ紙)

FSM 初起業週間の優勝チームが発表され, 5,000米ドルが寄付された

ポンペイ州の起業家チームが, ドロップ&ドロップ・ミクロネシア起業週間で優勝した。この起業家イベントは, Google Techstars Startup Weekend, グアム大学経営学部及び行政学の学生, Pacific Island Small Business Development Center Network が協力して実施したもので, ミクロネシアでは初めての開催となった。優勝したチームの事業内容は, 食品から洗濯物までの幅広いアイテムを効率的かつ便利に郵送するサービスで, 1月にグアムで償金を受け取り, 立ち上げ資金に充てる。

(カセレリエ紙)

4 経済協力

日本が5トン容量の塵芥車をマドレニウム地区に寄付

13日、マドレニウム地区は、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件として新しい塵芥車を整備するため、日本大使館より89,647米ドルを受け取った。ペトリック・リングレン・マドレニウム地区長と側嶋大使が贈与契約に署名した。
(13日付 カセレリエ紙)

チューク州“Tongen Inepwinew Service”がソフトオープニング

チューク州女性評議会の庁舎にて、“Tongen Inepwinew Service”の開会式が開催され、70名を超える出席者が参加した。同サービスは、女性に対する暴力への対応改善を目的にしており、豪州政府が同プロジェクトに支援している。
(12日付 カセレリエ紙)

中国・FSM友好研修プログラム

コスラエ州知事が任命した、コスラエ州及びポンペイ州の女性団体を代表する5名が、7月23日から8月12日の間に北京で開催された2019年度ラテンアメリカ、カリブ海、南太平洋諸国を対象にした貿易・投資セミナーに参加した。
(カセレリエ紙)

島嶼地域における世界遺産保存研修

グアムにて75ヶ国以上の島嶼地域の政府官僚、歴史保存担当官、専門家、NGOが集まり、島嶼地域における世界遺産条約、国家歴史的建造物プログラム及びその他の歴史、文化、自然の保存に関して協議し、12月3日から6日までの研修に参加した。参加者は米領サモア、グアム、サイパン、米バージン諸島、マーシャル、パラオ、FSMから参集した。研修後はFSMのナンマドール遺跡を訪問する予定となっている。
(カセレリエ紙)

5 文化・教育

MCT, 5人の学生をMC ヤングチャンピオンとして表彰

MCT (Micronesia Conservative Trust) は5人の FSM で学ぶ学生に対し、MC ヤングチャンピオンの表彰を行った。これは、2009年から MCT が行っているもので、自然環境の保全に貢献した者に対して表彰しているもので、これまで計43名が受賞している。

(5日付 カセレリエ紙)

豪大使、世界ボランティアデイにレセプションを開催

5日、フレイザー豪大使は世界ボランティアデイにちなみ、同大使公邸でレセプションを開催し、JICAボランティアを含む、ポンペイ州で活躍する豪ボランティアや国際機関関係者などを招致し激励した。

(5日付 カセレリエ紙)

豪大使館、ホワイトリボン・ウオークを主催

豪大使館は、家庭内暴力反対をアピールするための第7回ホワイトリボン・ウオークをポンペイで主催した。

(カセレリエ紙)